

## 電磁気学 1 演義 試験問題

1. 以下の公式を示せ．ただし， $f$  はスカラー場， $A, B$  はベクトル場とする．

(a)  $\nabla \times (\nabla f) = 0$

(b)  $\nabla \cdot (A \times B) = (\nabla \times A) \cdot B - A \cdot (\nabla \times B)$

(c)  $\nabla \times (\nabla \times A) = \nabla(\nabla \cdot A) - \Delta A$

(d)  $\int \nabla f dV = \int f dS$

ただし， $dS = n dS$  で， $n$  は外向き単位法線ベクトルである．

ヒント:  $A = fc$  ( $c$  は定数ベクトル) として， $A$  にガウスの定理を用いる．

2. 静電ポテンシャルが  $\phi(r) = Ae^{-r/a}/(4\pi\epsilon_0 r)$  で与えられるような静電場がある． $A, a$  は定数で， $a > 0$  とする．

(a) ポアソン方程式を用いて原点以外での電荷分布を求めよ．

(b) 原点以外での電場を求めよ．

(c) ポテンシャルが  $r \ll a$  で  $1/r$  の様に振舞うから，原点に点電荷があると考えられる．原点を中心とする微小な球面に積分形のガウスの法則を適用して，原点にある電荷の大きさを求めよ．

(d) 原点以外にある電荷の総量を求めよ．

3. 次のような真空中の電磁波を考える:  $E(r, t) = E_0 \sin(\omega t - k \cdot r)$ . ただし， $E_0, k$  は実定数ベクトル， $\omega$  は正の定数である．

(a)  $k$  と  $E$  が直交することを示せ．

(b)  $\omega$  と  $k$  の関係を求めよ．結果は真空中の光速  $c = 1/\sqrt{\epsilon_0 \mu_0}$  を用いて表せ．

(c) 磁場  $B(r, t)$  を求めよ．ただし，静磁場はないものとする．

(d) ポインティングベクトルの向きを求めよ．

(e) ポインティングベクトルの次元を SI 単位で示せ．ただし，結果は SI 基本単位 [s], [m], [kg], [A], および [J] の内で必要なものを用いて簡潔に表せ．

4. 極板の面積  $A$ ，極板間の距離  $d$  の平行板コンデンサーについて考える．(極板の端での場の乱れは無視し，場は極板に垂直な成分のみとする．) このコンデンサーの極板間を誘電率  $\epsilon$  の固体誘電体で満たし，電源に接続し極板間の電位差を  $V_0$  とした．

(a) 極板間の電場の大きさ  $E$  と電束密度の大きさ  $D$  を求めよ．

(b) 極板の電荷を求めよ．

(c) 静電容量を求めよ．

(d) 電源に接続したまま，極板間の距離を  $2d$  に広げた．(つまり，電位差に変化はなく，誘電体のない部分の距離は  $d$  である．) このときの極板の電荷を求めよ．

5. 一様に磁化した半径  $a$  の球がある．磁化を  $M = M\hat{z}$  とする．

(a) 表面磁化電流密度  $K_m$  を求めよ．

(b) 上で求めた電流密度が作る磁気双極子モーメント  $m$  を求めよ．

(c)  $m$  が磁化  $M$  による全磁気双極子モーメントに一致していることを確かめよ．

必要があれば以下の式を用いてもよい。

- bac-cab ルール

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \mathbf{b}(\mathbf{a} \cdot \mathbf{c}) - \mathbf{c}(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})$$

- 球対称の場合のラプラシアン

$$\Delta\phi = \frac{1}{r} \frac{d^2}{dr^2}(r\phi)$$

- 真空中のマクスウェルの方程式

$$\nabla \cdot \mathbf{E}(\mathbf{r}, t) = \frac{\rho(\mathbf{r}, t)}{\varepsilon_0}, \quad \nabla \cdot \mathbf{B}(\mathbf{r}, t) = 0$$

$$\nabla \times \mathbf{E}(\mathbf{r}, t) = -\frac{\partial}{\partial t} \mathbf{B}(\mathbf{r}, t)$$

$$\nabla \times \mathbf{B}(\mathbf{r}, t) = \mu_0 \mathbf{j}(\mathbf{r}, t) + \mu_0 \varepsilon_0 \frac{\partial}{\partial t} \mathbf{E}(\mathbf{r}, t)$$

- 表面磁化電流密度

$$\mathbf{K}_m = \mathbf{M} \times \mathbf{n}$$

ただし,  $\mathbf{n}$  は外向き単位法線ベクトル。

- 電流密度  $\mathbf{j}(\mathbf{r})$  が作る磁気双極子モーメント

$$\mathbf{m} = \frac{1}{2} \int \mathbf{r} \times \mathbf{j} dV$$